

2021年9月12日CS レジュメ（参考資料：「成長」）

CS（教会学校）のみなさま、
おはようございます！今朝も聖書のみ言葉を共に学びましょう。

【テーマ】「サムソン」

【聖書のみ言葉】少し長いですが、士師記16:4-31 を読みましょう。

【み言葉の説明】

神さまを忘れて罪を犯していたイスラエル人は、40年間もペリシテ人に苦しめられていました。その頃、神さまの使いがある女の人に現れて告げました。「あなたに男の子が生まれます。その子は神さまの力によってイスラエル人を守ります。ただし、その子の髪の毛を切ってははいけません。」両親は幼子をサムソンと名付け、髪の毛を切りませんでした。

成長したサムソンは怪力の持ち主でした。ライオンもペリシテ人もサムソンにはかいませんでした。そこで、ペリシテ人は、「サムソンの怪力の秘密を聞きだしたら、銀貨をあげる」と言って、デリラという綺麗な女の人を送り込みました。

サムソンはすぐにデリラを好きになりました。しかし、怪力の秘密を聞かれても、サムソンはデリラに本当のことを伝えませんでした。しかしデリラもあきらめません。あまりにしつこく聞かれたサムソンは、とうとう秘密を打ち明けてしまいました。「僕の髪の毛を切ったら、僕の力はなくなるよ。」

この秘密を知ったペリシテ人は、サムソンが寝ている間に髪の毛を切りました。そのため、神さまの力はサムソンを離れてしまいました。そこで、ペリシテ人はサムソンを捕らえ、目をえぐり、牢に閉じ込めました。

しばらくして、サムソンはペリシテ人の神殿に見世物として連れて来られました。サムソンは「もう一度だけ強くしてください」と神さまに祈り、神殿の二本の柱を力一杯押ししました。すると柱は折れて神殿は崩れ、大勢のペリシテ人が下敷きになりました。サムソン自身も命を失いましたが、神さまはサムソンの祈りに応え、イスラエルを救われたのです。

【み言葉の適用】

私たちも日々の罪を悔い改めましょう。神さまは悔い改める者を見捨てないで、ご用のために再び用いて下さいます。

【お祈り】

神さま、私の罪を赦し、ご用のために用いて下さい。アーメン。

ありがとうございました！新しい一週間も神さまの祝福が豊かにありますように！